

## 研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<p>&lt;研究課題名&gt; 急性リンパ芽球性白血病(ALL)における患者検体および細胞株を用いた融合遺伝子の同定と機能解析に関する研究</p>
<p>&lt;研究機関・研究責任者名&gt; 日本大学医学部附属板橋病院 血液・腫瘍内科 (研究責任者) 八田善弘</p>
<p>&lt;研究期間&gt; 承認日 ~ 令和7(西暦2025)年12月31日</p>
<p>&lt;研究の目的と意義&gt; 急性リンパ芽球性白血病(ALL)は成人において難治性の血液がんのひとつです。およそ2~5割の患者さまで、白血病細胞の細胞核にある染色体と呼ばれる遺伝子を格納した構造物に「転座」と呼ばれる異常がみられます。染色体転座によって本来離れた場所にあるべき遺伝子が融合し、様々な異常を生じることがALLの発症に関与していることが分かっています。しかしこの融合遺伝子の分子メカニズムについてはまだまだ不明な点が多く、そのような遺伝子がどのように我々の体内で機能しているかを解明することは、病気の原因解明だけでなく治療薬の開発にとっても有用です。</p>
<p>&lt;利用する試料・情報の項目&gt; ALL診断のために行った骨髄検査の際に、医学研究のために利用することに同意をいただいた検体を用いて研究を行います。</p>
<p>&lt;対象となる方&gt; 西暦2018年1月1日から西暦2019年1月31日までの期間に日本大学医学部附属板橋病院血液・腫瘍内科でALLの診断でかつ染色体転座を有する患者さまが対象となります</p>
<p>&lt;研究の方法&gt; 診断時の骨髄検体から白血病細胞を分離し、その後遺伝子を抽出して染色体転座部位の配列を特定し融合遺伝子を同定します。融合遺伝子が形成されていれば、融合遺伝子が実際に細胞内発現しているかどうかを逆転写ポリメラーゼ連鎖反応(RT-PCR)法で確認します。さらに、融合遺伝子をPCR法で人工的に増幅して「ベクター」と呼ばれる遺伝子の搬送物を作成し、そのベクターを用いて実験用の白血病細胞の核内に融合遺伝子を取り込ませます。その後実験用の白血病細胞が実際に融合遺伝子をもとにタンパクを作っているかどうかを確認し、その細胞の増殖能や細胞死、細胞表面にどのような蛋白を持つか、抗がん剤に対する反応などを調べることで融合遺伝子の機能を解析します。</p>
<p>&lt;お問い合わせ窓口&gt;          日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区大谷口上町30-1)          血液・腫瘍内科 氏名：八田善弘          電話：03-3972-8111 内線：(医局)2403 (PHS)8011</p>